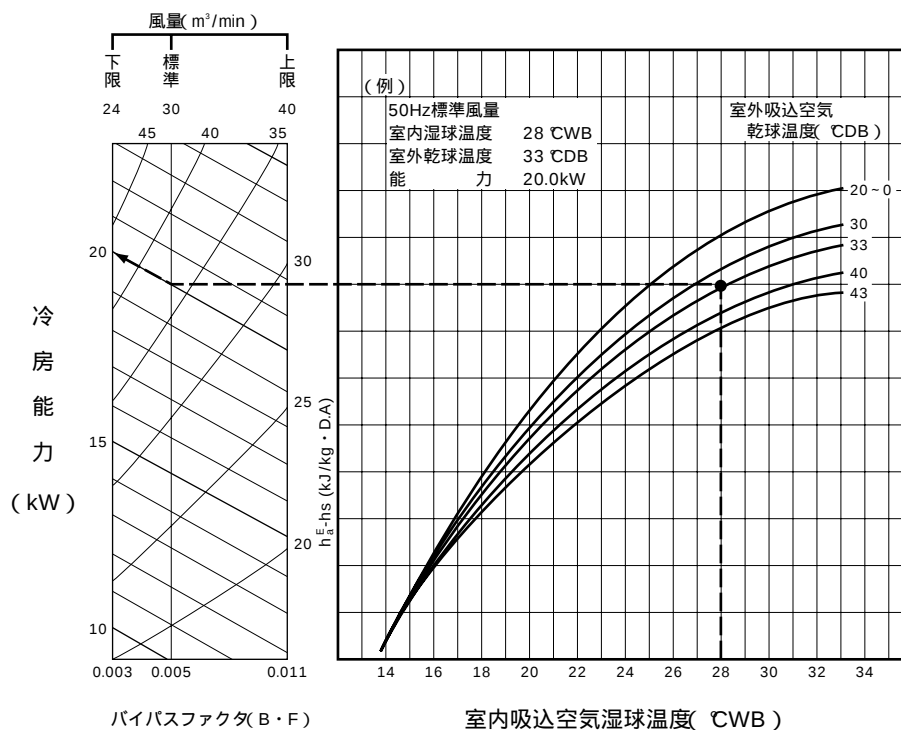


3.4.7 能力特性

ASP224F

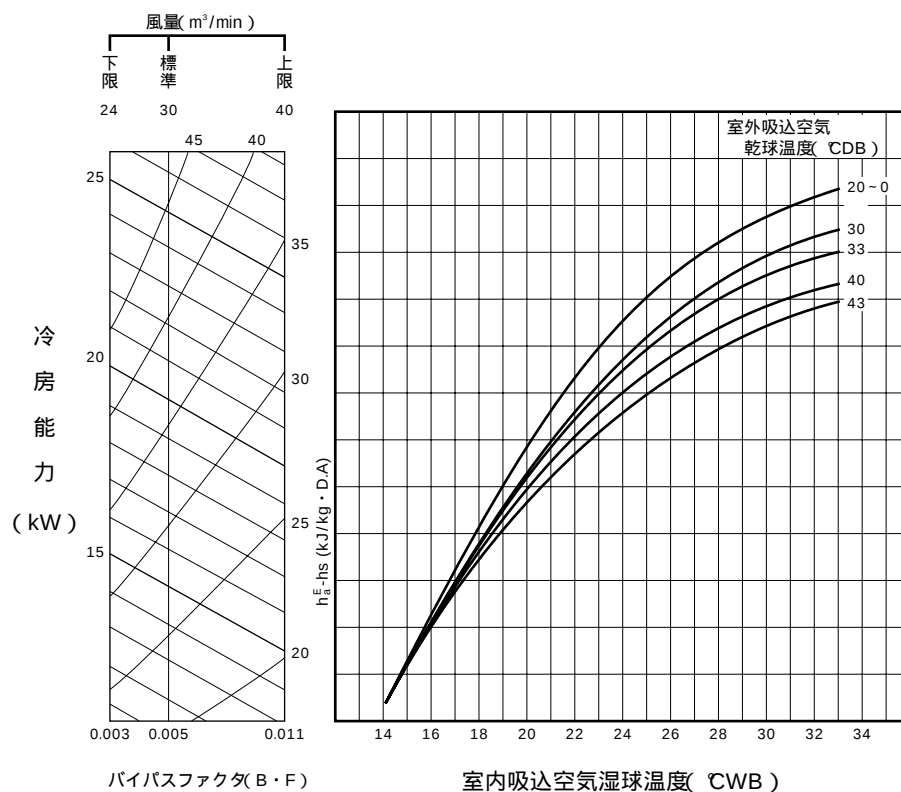
50Hz

標準条件
顕熱比 (SHF) = 0.43



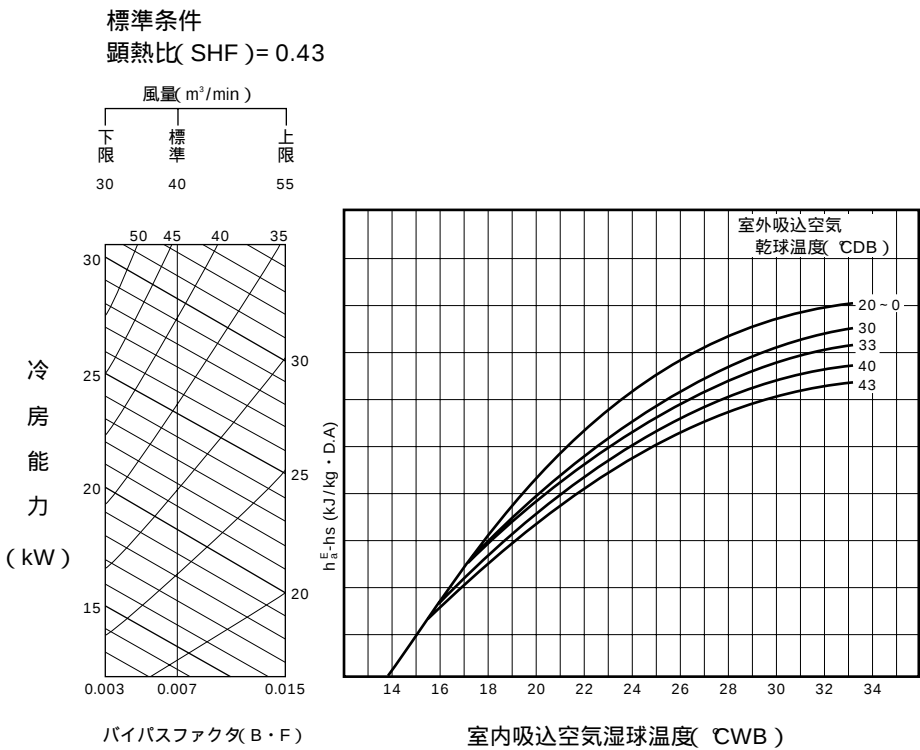
60Hz

標準条件
顕熱比 (SHF) = 0.41

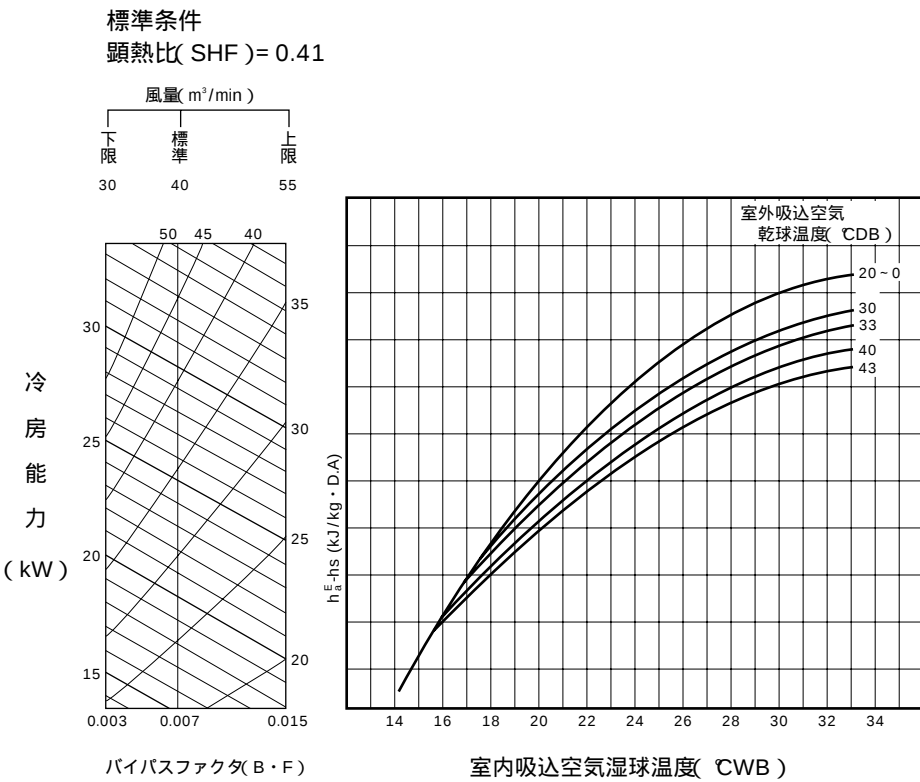


ASP300F

50Hz



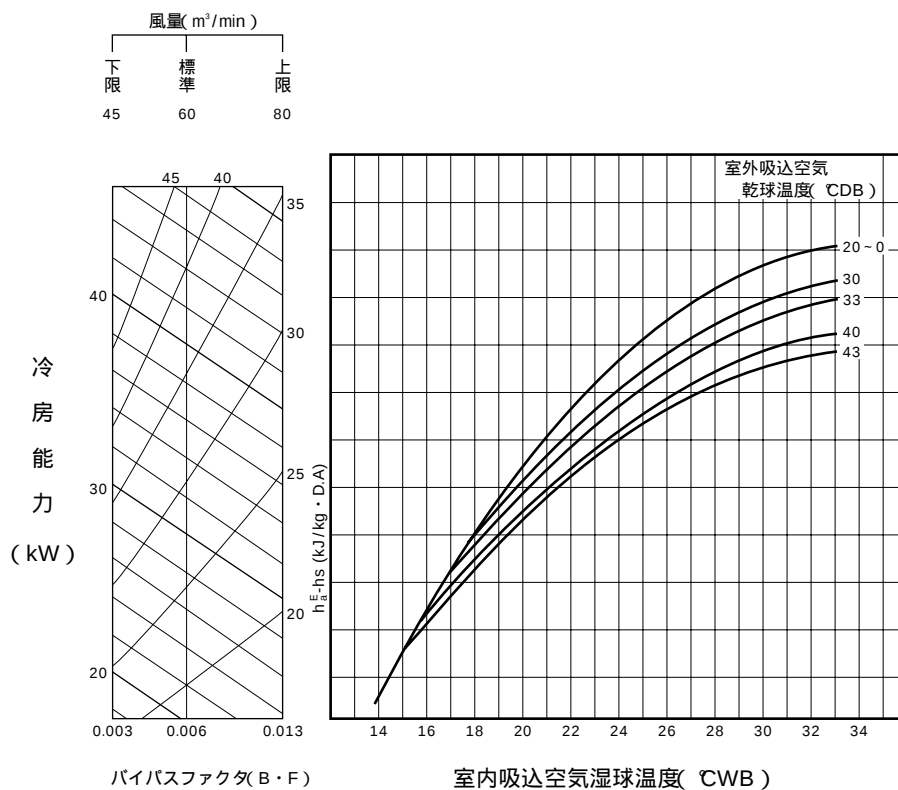
60Hz



ASP450F

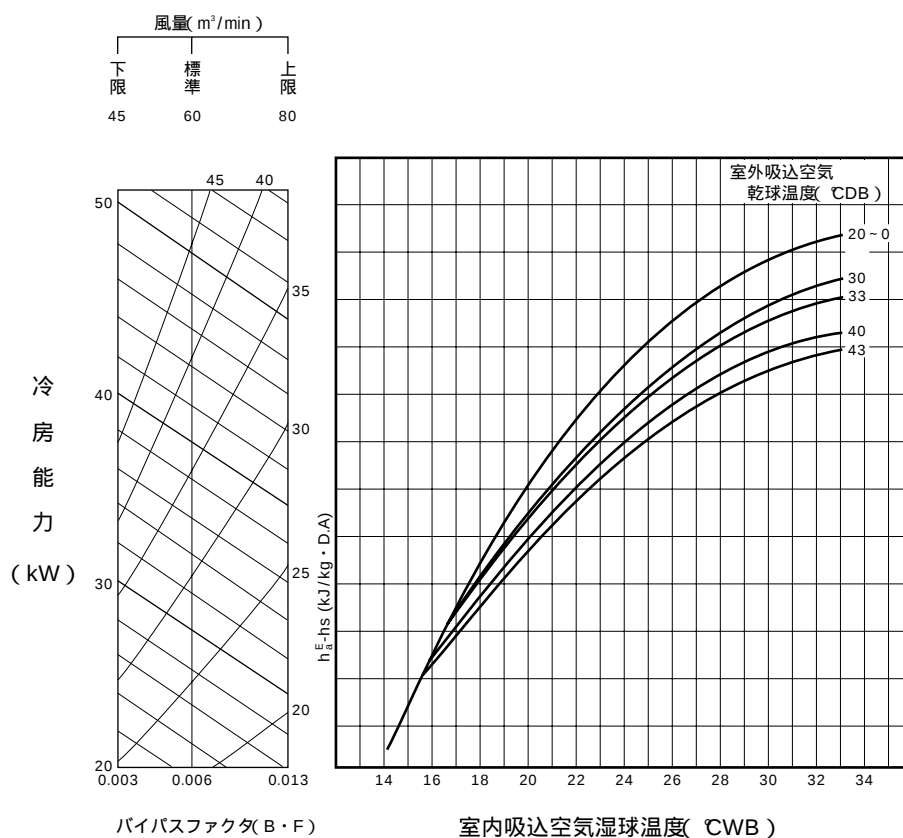
50Hz

標準条件
顕熱比 (SHF) = 0.43



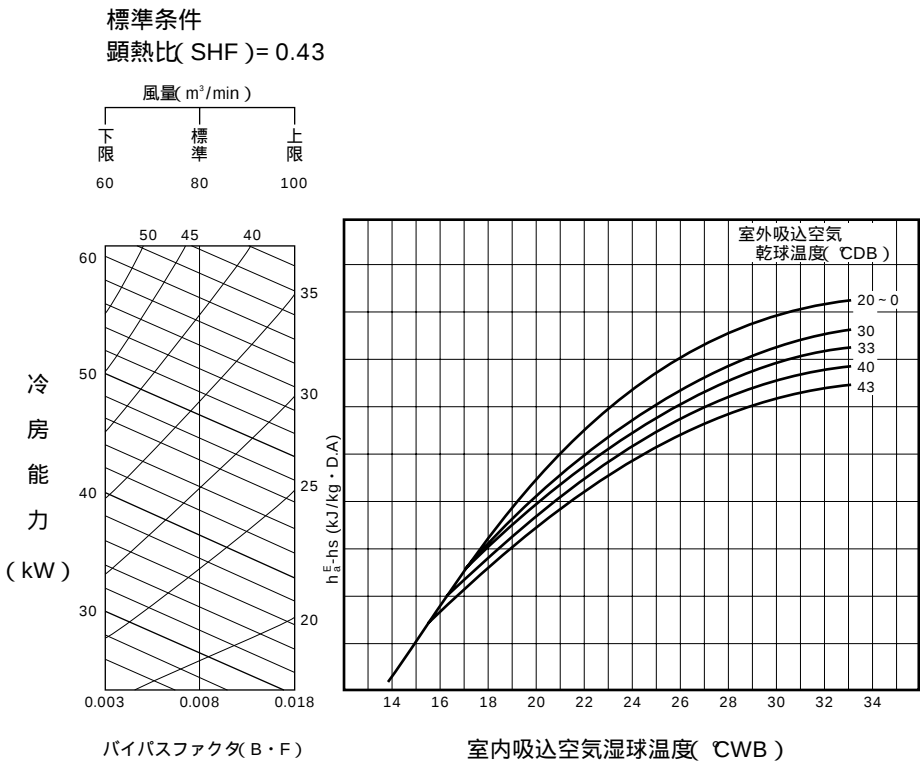
60Hz

標準条件
顕熱比 (SHF) = 0.41

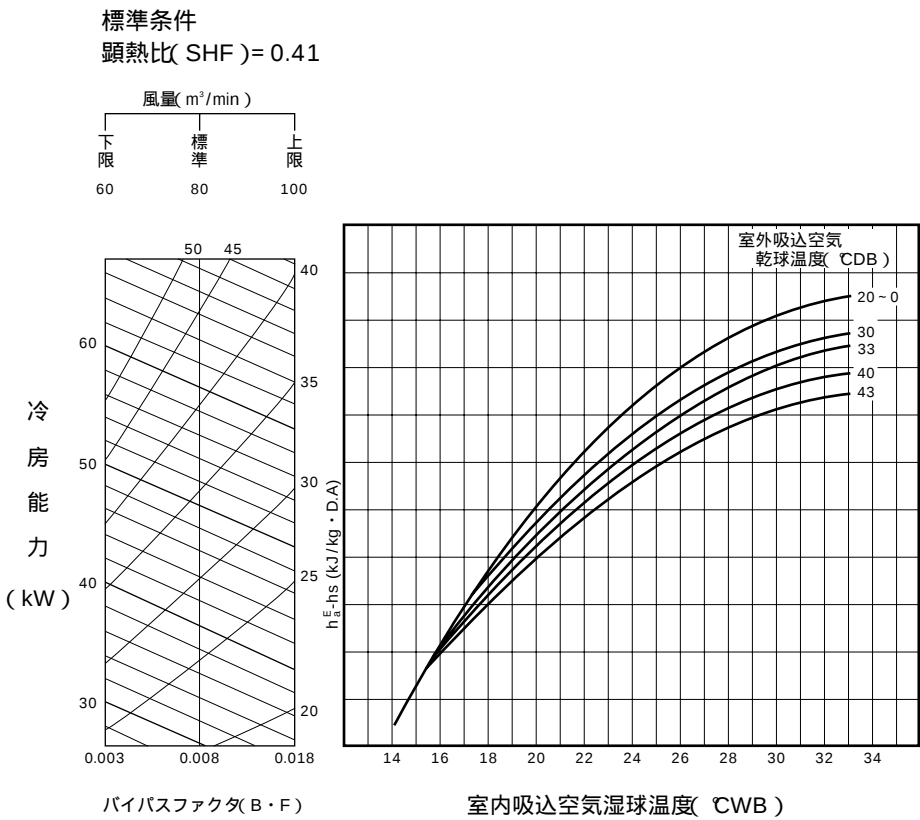


ASP600F

50Hz

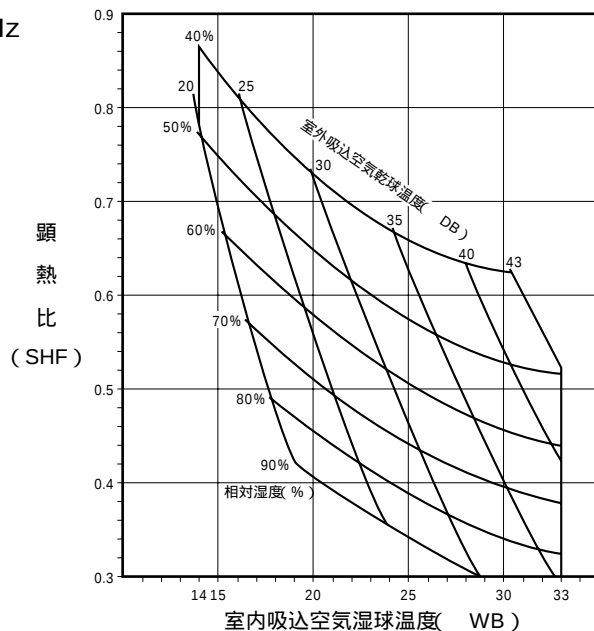


60Hz

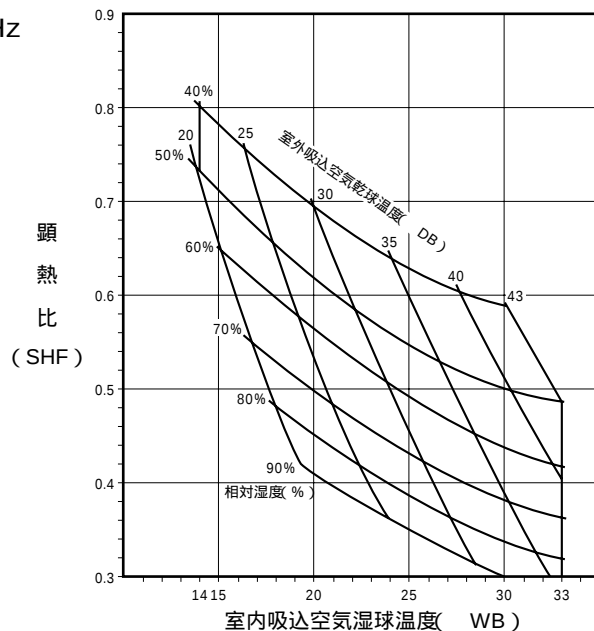


顕熱比特性(標準風量の場合)

50Hz



60Hz



配管距離による能力補正

冷媒配管長(室内、室外ユニット間の配管の片道長)により、冷房能力の補正が必要です。

正味能力 = 図表の能力 × 補正係数

補正係数

相当長(m)	7.5	10	15	20	25	30	35	40	45
ユニット									
全形式共通	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.995	0.995	0.99	0.99

注(1) 相当長は下式により計算してください。但し相当長がそれぞれの形式の「配管距離制限長さ+5m」以内となるよう計算してください。

相当長 = ガス管の実長 + ガス管系統の継手個数 × 継手の相当長 (m/個)

継手1個当りの相当長

単位: m/個

配管径(mm)	Ø22.2	Ø25.4
L継手(90°エルボ)	0.10	0.15

尚、室外ユニットが室内ユニットの下部にある場合その高さにより上表の値より下記の数値を差し引いてください。

室内、外ユニットの高さ方向の差(m)	5	10	15
補正係数	0.01	0.02	0.03

冷媒配管距離の制限値

項目 形式	最大片道配管長さ	標準仕様	
		高さ制限	
		室外ユニットⒶ	室外ユニットⒷ
ASP224F, 300F ASP450F, 600F	40	35	15

注(1) 室外ユニットⒶ……室外ユニットが室内ユニットより上にある場合を示します。

室外ユニットⒷ……室外ユニットが室内ユニットより下にある場合を示します。

冷房能力算出例

- 形式: ASP224F, 60Hz標準風量, 室内湿球温度: 28 WB, 室外乾球温度: 33 DB, 相当長: 30m, 室内外ヘッド差: 5m(室外ユニットが下)

正味冷房能力 = 22.4kW × (0.995 - 0.01) = 20.06kW

能力特性

相当長補正係数

室内・外の高さの差補正係数